

○第 122 回（令和 3 年 5 月 26 日）

| 審議事項 | 学外委員からの意見 | 会議当日の回答 |
|-----------------------------|---|--|
| 1 令和 4 年度施設整備費概算要求事項（案）について | ①指定国立大学構想の実現に向けて、特にどこに力を置いていこうと考えているのか。 | ①昨年度改定したキャンパスマスタープランに盛り込んでいるが、研究力・産学連携の強化のための施設整備や、全学的なチュートリアル教育の実現に向けた環境整備を進めていきたいと考えている。 |

| 報告事項 | 学外委員からの意見 | 会議当日の回答 |
|-----------------------------|---|---|
| 1 令和 3 年度国立大学法人筑波大学年度計画について | （特になし） | |
| 2 第 4 期中期目標・中期計画（たたき台）について | <p>①最終的な作業としては枠組みに当てはめていくしかないが、最初に大学としての目標を立てた上で、決められた枠組みに落とし込んでいく等、なるべく自由に運営できるよう取り組んでほしい。</p> <p>②中期目標 17 には、本学のダイバーシティに配慮した取り組みについてもっと具体的な内容も書き込めば良いのではないか。</p> <p>③評価指標 25 のポスドクと産業界の接続についてと、評価指標 33～35 の大学発ベンチャーについては関連することもあり、別々の目標で書く必要はないのではないか。</p> <p>④評価指標が多く、担当もそれぞれ多岐にわたるた</p> | <p>①本学は指定国立大学構想の実現に向けて、第 4 期の大綱が示される前から計画を立てていたため、そういった意味では大綱に縛られることなく立案できていると思っている。</p> <p>②ご意見いただいた案も踏まえ、適宜修正していきたい。</p> <p>③ご指摘いただいたご意見については、今後検討させていただきます。</p> <p>④ご指摘のとおりだと思っている。評価指標の数字</p> |

| | | |
|-----------------------------|---|--|
| | め、全学の達成状況のバランスを見つつ、真に必要なこと、やりたいことが疎かにならないように取り組んでほしい。 | の多くは、普通に進めていけば超えられるものを設定しているが、達成の困難さは項目によって異なる。必要に応じて配分等を考える必要がある。 |
| 3 大学債の発行に向けた検討について | ①ぜひ国立大学が中心となって、推進して欲しい。 | ①積極的に進めていきたいと考えている。 |
| 4 TIB（仮称）設立に向けた検討及び推進体制について | （特になし） | |
| 5 令和3年度学群及び大学院入学試験実施結果について | （特になし） | |
| 6 第195回及び第196回教育研究評議会報告について | （特になし） | |

○第123回（令和3年6月22日）

| 審議事項 | 学外委員からの意見 | 会議当日の回答 |
|-------------------------|--|--|
| 1 令和2年度財務諸表について | ①外部資金の内、特に企業からの資金獲得について、何が課題だと考えているか。 | ①企業からの資金は共同研究費が多く、一つ一つの研究費の額が上がり始めているため、1件当たりの金額が大きくなるようにしたいと考えている。 |
| 2 第4期中期目標および中期計画の素案について | <p>①GLOBAL TRUST はアカデミアに限定した方が良いのではないか。</p> <p>②「未来都市を創成する」となると、大学の機能からは逸脱するように思われる。</p> <p>③社会共創については具体性を持たせた方がよいのではないか。</p> <p>④学位プログラムの他に、他分野の知見を取り入れ</p> | <p>①ご指摘のとおり修正したい。</p> <p>②文言の修正を検討したい。</p> <p>③ご指摘を踏まえて検討したい。</p> <p>④学位プログラム以外に、学生の学びたい専門知識</p> |

| | | |
|------------------------------|---|--|
| | <p>るとはどういったことか。</p> <p>⑤中期目標の前文で、地球規模課題の解決や未来都市の創成といった部分に、人々の幸福、というような文言を入れた方が良いのではないか。</p> | <p>も取り入れるという意味合いで記載している。</p> <p>⑤近い意味合いとして、人と社会の well-being とような文言を入れられれば良いかと思う。</p> |
| 3 令和2事業年度に係る業務の実績に関する報告書について | ①自己評価は低くしがちであるため、達成されているものは積極的に高く評価していった方が良い。 | ①前段階では最高評価の数がより少なかったが、見直した結果この数となっている。 |

| 報告事項 | 学外委員からの意見 | 会議当日の回答 |
|---|---|---|
| 1 令和2年度余裕金の運用実績等について | (特になし) | |
| 2 TIB(仮称)推進に向けた検討について | (特になし) | |
| 3 開発研究センターの評価結果について | (特になし) | |
| 4 学生宿舎の活用及び今後のリニューアル等の検討委員会設置について | ①全体としてどの程度の学生の居住を見込んでいるのか。ある程度の基本計画はすでにあるのか。 | ①希望者は入れるようにし、チュートリアル教育を行う施設も併設する等、学ぶ場と住む場所が一体化したようなものとしたい。 |
| 5 筑波会議 2021 の概要について | (特になし) | |
| 6 Tsukuba Global Science Week (TGSW) 2021 の概要について | (特になし) | |
| 7 第197回教育研究評議会報告について | (特になし) | |
| 8 その他 | ①ワクチンの職域接種の計画はどうなっているか。若干遅れているように感じるが何か理由はあるのか。 | ①全教職員、学生対象に職域接種を行う方向で申請しており、7月から9月頃にかけて学内で行うことを予定している。スケジュールについては、地方自 |

| | | |
|--|---|---|
| | <p>②大学債の発行に当たって、受け入れ先は想定されているのか。また、外資規制のようなものはあるのか。</p> | <p>治体の計画にすり込ませる必要があり、かつ茨城県が全国の中では遅れ気味であることが反映されていると思われる。</p> <p>②発行検討委員会を組織して検討を始めたところであるため、具体的に決まっている状況ではない。受け入れ先については、国債と同じような範疇で行うこととなると思うが、注意を払って進めていきたい。</p> |
|--|---|---|

○臨時（令和3年7月14日）

| 審議事項 | 学外委員からの意見 | 会議当日の回答 |
|------------------------------------|--|---|
| <p>1 令和4年度国立大学法人運営費交付金概算要求について</p> | <p>①研究所、事務組織等運営分について、設置基準を上回る経費とあるが、そもそも設置基準が最低基準となっているため、この算定方法について要望を出してはどうか。</p> <p>②ミッション実現戦略分については今後関係資料の提出が求められる可能性があるとのことだが、国に提示される前に、今から大学の方向性を考えて文科省に意思表示をしておいた方が良いかと思う。</p> <p>③ミッション実現戦略分について、何を目標に実現していくかを、グローバルな視点から考える必要がある。</p> | <p>①ミッション実現戦略分が新設されたことで、当該部分が減らされることのないよう、要望を出しているところである。</p> <p>②当該部分は、大学のやりたいことが書ける重要な部分と考えていて、その認識は文科省にも伝えている。国大協としては各大学の事例集を作成しようと準備を始めている。本学としても、盛り込むべきものを考え、8月までにまとめられるよう準備を進めている。</p> <p>③ご指摘のとおりだと理解している。世界基準のレベルで、本学の特徴が出せるよう書き込みたい。</p> |

| | | |
|--|---|---|
| | ④ミッション実現戦略分は、一大学だけではなく国立大学全体としても考える必要がある。また、これまでの実績を踏まえた上で上乗せしていくことが重要かと思う。 | ④各大学、過去のレガシーを意識した上で未来像を描く必要があると考えている。本学としては、建学の理念に基づき考えていきたい。 |
|--|---|---|

○臨時（令和3年8月20日）

| 審議事項 | 学外委員からの意見 | 会議当日の回答 |
|-----------------------------|---|---|
| 1 令和4年度国立大学法人運営費交付金概算要求について | <p>①全学的チュートリアルとしながら、1学年40人規模のスタートだとギャップがあるように感じるが如何か。</p> <p>②地球規模課題は学士課程の学生を想定しながらも、博士課程のレベルが求められていると記載されているように思うが、構想を教えてください。</p> <p>③一部分かりにくい名前の組織があるため、分かりやすく変更した方が良いのではないか。</p> <p>④記載された取組みを進めて、附属学校がいかに公教育に役立っているか、重要性をアピールしていただきたい。</p> <p>⑤経営人材の育成については、大学の歴史やミッションを理解した上で経営を行っていただくような人材を期待したい。</p> | <p>①最初は少数で始め、次第に全学的に展開していく予定である。対応できる教員も準備しなければならないため、チューター対象のFDを実施する必要もあり、時間をかけて進めていくことを考えている。</p> <p>②基本的にマレーシア校で計画している内容に基づいた記載である点をご理解いただければと思う。</p> <p>③ご意見を踏まえて、検討させていただきたい。</p> <p>④概算要求上、大きく予算建てしている重要な部分であり、第四期に向けて様々なことを変えていく必要があると考えている。</p> <p>⑤ご意見は今後参考にさせていただきたい。</p> |

| | | |
|--|--|------------------------|
| | ⑥ダイバーシティ、インクルーシブの他に、エクイティという言葉も入れても良いのではないか。 | ⑥ご意見を踏まえて、検討させていただきたい。 |
|--|--|------------------------|

○第 124 回（令和 3 年 9 月 15 日）

| 審議事項 | 学外委員からの意見 | 会議当日の回答 |
|--|---|--|
| 1 第 4 期中期目標・中期計画におけるその他の記載事項について | （特になし） | |
| 2 吾妻 2 丁目職員宿舎敷地の活用方針の変更等について | （特になし） | |
| 3 プレシジョン・メディシン開発研究センターにおける設置期間の更新（第 2 期）について | <p>①iLAC というベンチャー企業と当該センターとのスキームの流れはどうなっているのか。</p> <p>②数ある研究機関、大学がある中で、筑波大学の特色が明快に盛り込めると良いのではないか。</p> <p>③事業として計画通りに進まなかった場合の方針は考えてあるのか。</p> <p>④特別共同研究事業を締結するベンチャー企業とセンターとの研究の主体はどちらにあるのか。</p> | <p>①当該企業は大学発ベンチャーであり、CEO がセンター長でもあるため、利益相反に抵触しないよう注意している。また、特別共同研究事業を締結しており、これに基づいて開発研究を推進していくことになっている。</p> <p>②ご指摘のとおり、外部資金で行うメリットを企業に伝えるためにも、本学でやる意義を表に出して訴えていく必要があると考えている。</p> <p>③開発研究センターは、社会実装を目指しており、外部資金を稼げなければ終了せざるを得ない。また、毎年実績報告をもとに評価を行っており、発展性が見込めなければ廃止する可能性もある。</p> <p>④当該企業はあくまで外の会社であり、共同研究費を大学に収め、ある部分だけ共同研究を行う、という形になっている。研究の主体はセンターにある。</p> |

| | | |
|--|--------|--|
| 4 筑波大学附属病院陽子線施設整備運営事業に係る落札者の決定及び今後の手続きについて | (特になし) | |
|--|--------|--|

| 報告事項 | 学外委員からの意見 | 会議当日の回答 |
|--|------------------------|---|
| 1 第3期中期目標期間(4年目終了時)に係る業務の実績に関する評価結果について | (特になし) | |
| 2 令和4年度概算要求について | (特になし) | |
| 3 令和2事業年度財務諸表の承認について | (特になし) | |
| 4 デジタルイノベーション推進機構の設置及び設置に伴う法人規則等の制定等について | (特になし) | |
| 5 開発研究センターの評価結果について | (特になし) | |
| 6 学生宿舎リニューアル検討委員会の中間報告について | (特になし) | |
| 7 第198回及び第199回教育研究評議会報告について | (特になし) | |
| 8 その他 | ①大学ファンドへの対応はどうなっているのか。 | ①現在、ガバナンス、マネジメントのシステムとして、大学における最高決定機関とする経営の合議体を置くことが必要条件という考えで議論が進んでいる。 |

○第125回(令和3年10月26日)

| 審議事項 | 学外委員からの意見 | 会議当日の回答 |
|-------------------------------|-----------|---------|
| 1 附属聴覚特別支援学校の高等部専攻科の一部廃科等について | (特になし) | |

| 報告事項 | 学外委員からの意見 | 会議当日の回答 |
|--------------------------------|---|--|
| 1 国立大学法人ガバナンス・コードの適合状況等の更新について | ①本件は、中期目標中期計画と一体的・補完的に運用されるという理解でよろしいか。 | ①直接関係があるわけではない。ガバナンス・コードは毎年改訂することとなっているため、今回は第4期に向かうにあたって強調したい部分は書いている。 |
| 2 令和3年度組織評価の実施結果について | ①定量的な評価指標は別に考えているのか。定性的な評価は活動状況の報告ということで理解すれば良いのか。 ②学長としての評価はあるのか。また、最後のとりまとめをお知らせしてほしい。 ③女性の受賞率に関して、様々な配慮がされているところであるため、本学の教員にも積極的に応募していただきたい。 | ①定量的指標は別表にまとめていて、予算配分はこの数値に基づき行っている。定性的評価についてはご理解のとおり。 ②今はまだ書面上のやり取りの段階のため、対話の後に全体としての報告が出来るかと思う。取りまとめについては後日お知らせさせていただきたい。 ③チャンスがあるということを広めていくところから、努力していきたい。 |
| 3 筑波大学統合報告書 2021 の作成・公表について | ①報告書のタイトルをもう少し分かりやすい名称にできないか。 ②このデータから、外部への主張や内部の運営の改善等に生かすのが最終目標かと思うが、検討状況を | ①企業等で使用されている名称を参考にしたが、サブタイトル等で工夫したい。 ②これを情報発信しつつ、ステークホルダーとの対話を通じて、目標達成に向けて今後取り組むべき点 |

| | | |
|-----------------------------|--|--|
| | <p>教えていただきたい。</p> <p>③人件費比率は高いことが問題ではなく、どう育っていくかが問題であるため、特に財政面で負担の多い附属学校に関する紹介があっても良いのではないか。</p> <p>④アウトプットとアウトカムの分け方が曖昧で、アウトカムに関する記述が抽象的に思える。</p> <p>⑤企業ではステークホルダーを非常に意識していて、アウトカムの記載が多いため、本学も研究成果やベンチャー等、もっと成果を意識して書くと良いのではないか。</p> <p>⑥写真やレイアウトの面で、見せ方をもう少し工夫した方が読んでもらえるのではないか。</p> <p>⑦アントレプレナーやスタートアップについて、最近の状況を教えていただきたい。</p> | <p>等を示しつつ、要望を聞き、さらに内容を充実させていきたい。</p> <p>③ご指摘の件は、いずれまとめてご報告しなければならないと考えている。</p> <p>④研究を展開してその結果出てくるものがアウトカムであると思っているが、まだ未成熟な部分があり、今後記述の整理が必要だと考えている。</p> <p>⑤ご指摘の件は検討し、次回作成の際に参考にさせていただきます。</p> <p>⑥ご指摘の件は検討し、次回作成の際に参考にさせていただきます。</p> <p>⑦大学のランキングでは4位にいる。今後はギャップファンドを通じて、大学発ベンチャーの立ち上げに向けてさらに進めていきたい。</p> |
| <p>4 第200回教育研究評議会報告について</p> | <p>(特になし)</p> | |

| 審議事項 | 学外委員からの意見 | 会議当日の回答 |
|---------------------------------------|--|--|
| 1 令和3年度学内補正予算について | ①目的積立金の期をまたぐ繰越は認められているのか。 | ①文部科学省から考え方が示されており、中期目標期間を超える合理的な理由があれば申請できることとなっている。 |
| 2 第3期中期目標期間終了時における積立金の繰越に係る承認申請について | ①未来社会デザイン棟の事業の規模に対して予算が少ないのではないかと。 ②施設整備費として概算要求するという方法もあるのではないかと。 | ①今回示した予算を充てるのは事業の一部のみで、他に大学債等を活用することを考えている。 ②概算要求事項としては、施設の老朽化改善でかなりの額になってしまうため、本件のような新しい事業については多様な財源を活用することを考えている。 |
| 3 特別貢献手当の新設について | ①これは在職している教職員を対象にしたものなのか、外国から招く時の給与にプラスするような用途も考えているのか。 ②金額や継続性についてはどのように検討されたのか。 | ①基本、在職者に給与以外にプラスして支給するものとして考えている。 ②詳細の設計についてはその際に再度説明することになるかと思う。 |
| 4 分野融合型数理・データサイエンス・AI 推進本部の設置について | ①どのようなトップ人材をデータサイエンティストとして育成する予定なのか。 | ①本学は、総合知教育により、自分の専門分野だけでなく幅広い教養を身に着けた学生の育成を進めているため、そういった学生の中からデータサイエンスの内容を牽引するような人材が養成されることを想定している。 |
| 5 国立大学法人筑波大学附属病院長候補者選考に関する規程の一部改正について | ①任期の上限は定めないということもあり得るかと思うが、上限6年で良いのか。 | ①現行が4年であるため、まず上限6年で運用し、それが短いという議論があれば、今後さらなる規則改正の可能性もある。 |

| 報告事項 | 学外委員からの意見 | 会議当日の回答 |
|-----------------------------|-----------------------------------|--|
| 1 信用格付の取得について | (特になし) | |
| 2 令和3事業年度中間決算について | (特になし) | |
| 3 令和3年度上半期の余裕金の運用実績等について | (特になし) | |
| 4 重要財産の譲渡について | (特になし) | |
| 5 令和2年度に係る業務の実績に関する評価結果について | ①さらなる評価を得るには、書き方を工夫する必要があるのではないか。 | ①ご指摘のとおり、報告の仕方も重要だと考えている。ただ、大学の規模に合わせた評価ということで、さらに努力をしていきたいと思っている。 |
| 6 開発研究センターの更新審査結果について | (特になし) | |
| 7 理事（非常勤）の任命について | (特になし) | |
| 8 第201回及び第202回教育研究評議会報告について | (特になし) | |
| 9 その他 | ①本学教員の不祥事について、大学としてどのように対処したのか。 | ①被害者から相談があった後、重大な状況であることを認識したため、通常の手続きを早めて取れる限り迅速な措置を取った。 |

○第127回（令和4年1月24日）

| 審議事項 | 学外委員からの意見 | 会議当日の回答 |
|----------------------------|---|------------------------------|
| 1 第4期中期目標（原案）及び中期計画（案）について | ①「第三の職を含む多様な専門的人材」とすると、第三の職以外にも専門職人材があるように受け取られるのではないか。 | ①ご指摘いただいた部分について、文言の修正を検討したい。 |

| | | |
|--|---|--|
| | ②数値目標の数字をきっちり書いているが、「～以上」という書き方でも良いのではないか。 | ②指定国立の目標から逆算して出しているため、具体的な数値となっている。数値目標は変えられない段階に来ているため、このままとさせていただきたい。 |
| 2 国立大学法人筑波大学業務方法書の変更について | (特になし) | |
| 3 令和4事業年度における長期借入金及び償還計画について | (特になし) | |
| 4 令和4年度における新型コロナウイルス感染症の影響による学生の身分等に関する特別措置の制定について | ①入試の柔軟性に関する対応はどうか。 ②留学生に対する配慮はぜひこのまま続けてほしい。 | ①学生の入学の機会を奪わないという原則で、共通テストの追試の他、個別入試も最初に計画された入試にプラスして行うことを計画している。 ②留学生の支援は、本学としても重要なことだと考えている。経済的な支援の他、指導教員が連絡を取る際に励ましのメッセージを添える等、できる限りのサポートを行っている。 |
| 5 「競争的研究費の直接経費から研究代表者（PI）の人件費の支出」に関する本学の取扱い等の改正案について | ①「拠出」という表現があるが、大学の予算を大学が拠出するというのはおかしいのではないか。 | ①実際には、研究代表者が実質的な権限を持っており、かつ幾ら使うかを定めることになるため、そういう意味で「拠出」という表現にしている。 |
| 6 IMAGINE THE FUTURE. Forum（仮称）事業基本構想について | ①企業としては、大学と話がしたい場合もあると思うが、やり取りは全て ITF. Forum 事業推進室とすることになるのか。 | ①事業推進室は外部法人になる可能性もあり、その場合でも本学の技術、知識を活用しながら、企業の課題解決に向けて機能できるように考えている。事業推進室のあり方は今後の課題として検討していきたい。 |

| | | |
|--|---|--|
| | <p>②大学債と長期借入金を比較して、大学債を使うメリットは何があるのか。</p> <p>③ニーズドリブン型の研究開発について、架空の例等を使って、分かりやすくPRした方が良いのではないか。</p> | <p>②長期借入金の方が、支払う金額はトータルでは少なくなるが、大学債はステークホルダーとの信頼関係を強化できるという点がメリットだと考えている。</p> <p>③ご指摘のとおり、企業に入ってもらうために、もっとコマースベースで分かりやすく宣伝できればと思う。</p> |
| 7 健幸ライフスタイル開発研究センター設置及び設置に伴う法人規則等の一部改正について | ①基礎的な研究情報を、例えば人文科学系や芸術系の教員と共有することによって、違うアプローチが出てくるような情報共有システムがあれば画期的だと思うため、そういった工夫を加えてほしい。 | ①ご指摘のとおり、様々な異なる分野で、アルコールを飲んだ時の感覚を違う形で表現できるか、というようなことを取り組む予定でいる。 |

| 報告事項 | 学外委員からの意見 | 会議当日の回答 |
|-----------------------------|---|--|
| 1 令和4年度国立大学法人運営費交付金等予算案について | (特になし) | |
| 2 大学債発行に関する検討状況について | <p>①償還計画について、詳細が決まったら聞かせてほしい。</p> <p>②企業以外に、卒業生等、一般人も対象となっているのか。その場合、どのように情報にアクセスできるのか。</p> | <p>①基本計画を立てた時に説明する予定となっている。</p> <p>②一般人や団体等、企業以外にも幅広い方からの投資を頂けるように考えている。周知方法の詳細はこれから検討していくが、なるべく一般の方や卒業生の方にも十分情報提供できるよう工夫していきたい。</p> |
| 3 開発研究センターの評価結果について | (特になし) | |

| | | |
|----------------------|--------|--|
| 4 第203回教育研究評議会報告について | (特になし) | |
|----------------------|--------|--|

○第128回(令和4年3月23日)

| 審議事項 | 学外委員からの意見 | 会議当日の回答 |
|----------------|---|--|
| 1 役員等の報酬について | (特になし) | |
| 2 外部法人の設立について | <p>①企業にとってのメリットはどこにあるのか。</p> <p>②つくば市の他研究機関の成果を本学と結びつけて社会実装に繋げられるのが望ましい。つくばグローバル・イノベーション推進機構も活用して進めてはどうか。</p> | <p>①初期は未公開株だが、成長と共に、外部の他企業からの投資も想定している。外部法人ができることによって、企業と本学との様々な連携がしやすくなると考えている。</p> <p>②他国では地域全体の活性化を目指す会社が設立されており、本学も将来的にはそのような形に近づいていければと考えている。</p> |
| 3 外部法人への出資について | (特になし) | |
| 4 令和4年度学内当初予算 | <p>①運営費交付金の減額について、客観的な指標の何が原因なのか。</p> <p>②ミッション実現加速化経費の対象事業は重点事業の中のどれにあたるのか。</p> | <p>①研究の若手研究者比率や科研費獲得件額・件数について、伸び率は良いが全体に占める割合となるとまだ低く、結果として配分額に響いてしまっている。</p> <p>②従来の機能強化経費の中の、重点支援評価に基づく配分部分を踏襲したものとなっており、重点及び戦略的な経費で措置した取り組みを実施することを考えている。</p> |

| | | |
|--|---|---|
| | ③留学生に関する予算が減っているように見える。 | ③運営費交付金が減額になったため、全体的に10%削減となっている。今後補正予算等で検討していく必要があると考えている。 |
| 5 財務規則及び財産管理規則等の一部改正について | ①外部法人の設立に関しては、指定国立大学法人になったことや今回の改正とは特に関係はないのか。 | ①従来から認められていたもので、今回の法改正によって可能になったものではない。 |
| 6 令和4年度資金繰計画及び資金運用計画について | (特になし) | |
| 7 給与関係規則の一部改正等について | ①医療従事者等への処置は非常に大事なことだと考えている。実施にあたっては広く関係者に周知いただきたい。 | ①引き続き同様の取組みを進めていきたいと考えている。 |
| 8 令和4年4月1日付け事務組織等の改編及び規則の見直しについて | ①今後は広報局が価値あるコンテンツを一元化して取扱い、プロダクションのように運営していくということか。 | ①仰るとおりのことを考えている。 |
| 9 職員就業規則等の一部改正等について | (特になし) | |
| 10 ゼロCO2エミッション機能性材料開発研究センター設置及び設置に伴う法人規則等の一部改正について | (特になし) | |
| 11 日本電気株式会社(NEC)とのDXリーダー育成戦略パートナーシップ協定について | (特になし) | |
| 12 国際統合睡眠医科学研究機構の先端研究センター化とヒューマン・ハイ・パフォーマンス先端研究センターの級の分類変更、及びこ | (特になし) | |

| | | |
|--|--------|--|
| れらに伴う法人規程等の一部改正について | | |
| 13 オープンファシリティ推進機構の設置及び設置に伴う法人規則等の制定等について | (特になし) | |
| 14 DESIGN THE FUTURE 機構の設置及び設置に伴う法人規則等の制定等について | (特になし) | |

| 報告事項 | 学外委員からの意見 | 会議当日の回答 |
|---|----------------------------|-------------------------------------|
| 1 令和4年度役員・役職教員について | (特になし) | |
| 2 第4期中期計画について | (特になし) | |
| 3 評価指標に係るマイルストーンについて | (特になし) | |
| 4 筑波大学マレーシア海外分校の開校に向けた検討状況について | ①現地法人を作れば解決するように思うが、難しいのか。 | ①資本金等の制限が大きく、現在政府間折衝をお願いしているところである。 |
| 5 筑波会議 2021 の実施概要について | (特になし) | |
| 6 Tsukuba Global Science Week 2021 の実施概要について | (特になし) | |
| 7 国立大学法人筑波大学経営協議会学外委員からの提言・質問等に対する大学側の対応・回答について | (特になし) | |
| 8 第204回及び第205回教育研究 | (特になし) | |

| | | |
|-----------|---------------------|--|
| 評議会報告について | | |
| 9 その他 | ①留学生の受け入れ状況を教えてほしい。 | ①水際対策の緩和により、順次入国手続きを進めているところであり、これから約700名の留学生の受け入れを予定している。 |